

報道関係者各位

2023年 1月 19日

株式会社読売広告社

読売広告社、制作作品が 「第60回 JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」において、 デジタル広告部門 JAA賞メダリスト 受賞

株式会社読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：菊地英之）は、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会が主催する「第60回 JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」のデジタル広告部門において、当社が制作に携わった作品がメダリストを受賞しましたことをお知らせいたします。

「JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」は審査員に広告の関係者を含まず、受け手である消費者が実感に基づいて審査するという世界でも類を見ない大きな特徴を持つ総合広告賞です。

今年度は、テレビ、ラジオ、デジタル、屋外・交通、新聞、雑誌の6部門合せて1164点の応募がありました。

【第60回 JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール受賞作品】

広告主 : 株式会社タカラトミー
商品 : プラレール
題名 : 「その想像を駆動させる」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=EJvKtdjouRc>



【制作スタッフ】



外山 毅 (とやま つよし)

クリエイティブセンター
クリエイティブディレクター

REGZA テレビブランディング、Hisenseテレビブランディング、明治「きのこの山・たけのこの里」、東京シティ競馬 年間コミュニケーションなど。



布田 雄帆 (ぬのた ゆうほ)

クリエイティブセンター
プランナー

明治「きのこの山・たけのこの里」、タカラトミー「プラレール」、NHK「W杯プロジェクト」、「SDGsプロジェクト」、サッポロビール「サッポロクラシック」など。



鹿毛 絵梨花 (かげ えりか)

クリエイティブセンター
コピーライター/プランナー

タカラトミー「プラレール」、明治「きのこの山・たけのこの里」、ほけんの窓口「保険、勉強しに行こか」など。

【受賞コメント】

発売から60年を超えるロングセラー玩具「プラレール」のブランドCM。おもちゃにまで想像力や知育性が求められる今、プラレールが目指したのは「電車のおもちゃ」からの脱却でした。プラレールの持つ本質価値を見つめ直し、「電車」ではなく、あの青い「レール」を主役とした表現で、これまでのイメージを大きく変えるCMにチャレンジしています。子どもたちの「想像力」が動き出す表情や姿を詰め込んだCM、ぜひご覧ください！

本件に関するお問い合わせ先 総務・広報部 田代・大瀧・阿久津 TEL：03-5544-7104

株式会社読売広告社 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル / TEL：03-3589-8111 / <https://www.yomiko.co.jp>